

## 第5回 高齢・介護部会における主な意見の要旨

## 1 委員による意見の要旨

計画目標等	施策等	意見の要旨
区民の健康寿命を延ばす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防</li> <li>・重度化防止</li> </ul>	要介護認定率を減らすためには、外出や社会参加の促進も重要であるが、一番パワーがあるのは医療ではないか。地区医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を介護予防と重度化防止の施策に加えてはいかがか。
高齢者の活動と参加を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症施策の総合的な推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の理解、認知症観の転換の促進にあたっては、子どもたちだけでなく、学校の先生の認識を高めることも必要ではないか。</li> <li>・事業者との連携についても取組みに加えていただきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護の推進を構成する取組みについて、市民感覚として分かりにくい。成年後見は意思決定支援、消費者被害の防止と虐待の防止は、犯罪被害や人権侵害の防止のように捉えられる。考え方を整理していただきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害の防止</li> <li>・犯罪被害の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害の防止に記載の消費者トラブルには、犯罪も含まれるのではないか。犯罪被害の防止と消費者被害の防止について考え方を整理できないか。</li> <li>・高齢者も感覚が若い方が増え、ネット、スマートフォンを通して被害に遭う高齢者が増えている。インターネットでの犯罪被害の知識を付けてもらうなど時代に合った対応が必要ではないか。</li> <li>・実際に犯罪被害にあわれた方、あいそうになる方と接することがあった。実際に対応する事業者との連携も取組みにくわえていただきたい。</li> </ul>
介護保険制度の円滑な運営		法人として地域の困りごとに対応出来ないか考えている。人と場所を提供、介護職員が在宅介護の困りごと、相談会、介護技術のレクチャー、開催してHPで告知している。区からの提案があれば、声をかけてほしい。
評価指標		設定した評価指標について、なぜこれらの指標を設定し、どう読み取ることができるのか、わかりやすく説明してほしい。

計画目標等	施策等	意見の要旨
計画全体		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申案のたたき台は、今まで通りの世の中の推移で見ると良いと思うが、尋常ではない物価高が高齢者の生活に大きな影響を与えるなど、世の中は大きく変わってきている。世の中の動きを捉え、社会の構造が大きく変わったときにどうするかを計画に織り込んでおく必要があるのではないか。</li> <li>・ 第8期計画の策定中に新型コロナウイルスが発生し、これまで経験したことのないことが起きた。一寸先が分からない状況は今後も起こりうる。同時に策定を進めている基本計画の審議においても、コロナショックを受け、世田谷区を取り巻く環境が厳しく変化している中で、どう施策を展開していくか議論し、方向性を出した。最上位計画の基本計画と上位計画の地域保健医療福祉総合計画と高齢・介護計画の、3つ合わせて読んでもらって、応えられるよう整理してほしい。</li> </ul>